

2社が受賞

おおいたビジネスオブザ・イヤー



おおいたビジネスオブザ・イヤーを受賞した木下築炉の安楽真澄社長（左）と池見林産工業の久津輪光一社長

大分商工会議所が優れた企業や経営者を顕彰する「第10回おおいたビジネスオブザ・イヤー」を池見林産工業、木下築炉（いずれも大分市）が受賞した。

池見林産は国産無垢材を独自技術で加工したフローリング板と壁板を生産。高いブランド力で韓国など海外展開も積極的に進めている。「大分での生産にこだわり、アジアへの輸出を拡大していく」と久津輪光一社長。

木下築炉は炉の耐火工事で高い技術力を持つ。大手企業を中心に高炉の新設や

改修を全国で請け負っているほか、近年は自治体が持つ火葬炉の受注も増やしている。安楽真澄社長は「さらに地域社会に貢献していきたい」と話している。

27日に大分市で表彰式があり、姫野清高会頭が「今後も自社と郷土・大分の発展のために努力してください」とあいさつ。久津輪、安楽両社長に賞状と盾を手渡した。

同賞は故・吉村益次元会頭の遺志を継ぎ、次代を担う経営者を育成するため、遺族からの寄付金で2002年度に創設した。